

教育研究業績				
			芸術学部芸術学科デザイン領域	
氏名	橋本 裕明		職名	教授
教育活動	[学部] ドイツ語Ⅰ、ドイツ語Ⅱ、ドイツ語Ⅲ、宗教文化論、図像学、文芸演習、大学生になる [大学院] 外国語研究			
学位	「文学修士」(南山大学) 「博士(文学)」(筑波大学)			
学歴	昭和50年3月 南山大学文学部独語学独文学科 卒業 昭和51年4月 南山大学大学院文学研究科独文学専攻修士課程 入学 昭和53年3月 南山大学大学院文学研究科独文学専攻修士課程 修了 昭和53年4月 南山大学大学院文学研究科独文学専攻博士後期課程 入学 昭和56年3月 南山大学大学院文学研究科独文学専攻博士後期課程単位取得退学			
職歴	昭和57年4月 名古屋芸術大学一般教育部専任講師 平成元年4月 名古屋芸術大学一般教育部助教授 平成12年4月 名古屋芸術大学一般教育部教授 平成12年4月 名古屋芸術大学美術学部教養部会主任 平成13年4月 名古屋芸術大学学生部長(平成19年3月まで) 平成19年4月 名古屋芸術大学図書館長(平成22年3月まで) 平成22年4月 名古屋芸術大学副学長(平成26年3月まで) 平成26年4月 名古屋芸術大学図書館長(平成27年3月まで) 平成27年4月 名古屋芸術大学学生部長(平成29年3月まで) 平成29年4月 名古屋芸術大学芸術学部芸術学科デザイン領域 教授(現在に至る)			
専門分野	ドイツ文学(ヘルマン・ヘッセほか) ドイツ中世哲学(ヨハネス・タウラーほか)			
研究課題	・中世ドイツ神秘主義の神学および説教研究 ・ヘルマン・ヘッセの後期文学			
教育研究業績	[著書] ・「東洋的キリスト教神学の可能性—神秘家と日本のカトリック者の実存探究の試み—」(単著) 行路社 (平成23年9月) ・「ヘルマン・ヘッセ エッセイ全集5」(共訳) 臨川書店(平成24年1月) [論文] ・「本多哲学における〈可逆即不可逆〉の〈即〉(1)—1974年の〈超越者と自己の関係〉議論をふまえて—」(単著) 名古屋芸術大学研究紀要第30巻(平成21年3月) ・「本多哲学における〈可逆即不可逆〉の〈即〉(2)—相即的人間学に基づく教育と東洋的キリスト教神学の構築の試み—」(単著) 名古屋芸術大学研究紀要第31巻(平成22年3月) ・「キリスト者の禪の立場—タウラーの神秘主義を媒介として—」(単著) 禅学研究(花園大学禅文化研究所) (平成22年3月) ・「ゴルトムントとヨゼフ・クネヒトの〈神秘的〉キリスト教」(単著) 名古屋芸術大学研究紀要第33巻 (平成24年3月) ・「Buddhistic "Soku" and the Mystic Thought of Eckhart and Tauler — On Nishitani's Interpretation of Eckhart —」(単著) 名古屋芸術大学研究紀要第34巻 (平成25年3月) ・「ヘルマン・ヘッセ『東方への旅』の魔術—前期ロマン派ノヴァーリスとの関連において—」(単著) 名古屋芸術大学研究紀要第38巻 (平成29年3月) ・「タウラーのキリスト信従とグルント神秘主義—エックハルトの思索からの展開として—」(単著) 筑波大学博士請求論文 (平成29年3月) [学会発表] ・「エックハルトの〈離脱〉について」(口頭発表) 禅とキリスト教懇談会 (平成29年8月)			
所属学会団体等	日本独文学会、中世哲学会、日本独文学会東海支部、東西宗教交流学会 禅とキリスト教懇談会、相即人間学会			
社会的活動	北名古屋市教育委員会外部評価委員(平成22~24年度)			

その他

- ・第39回日本翻訳出版文化賞(共訳者):平成15年
- ・第44回日本翻訳出版文化賞(共訳者):平成20年